

1 (別紙様式)

# 令和2年度学校自己評価システムシート ( 県立松山高等学校 )

目指す学校像	建学以来の伝統である「文武不岐」に基づき、幅広い教養と礼節を備え、社会に貢献できる品格あるリーダーを育成する。
--------	---

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	<p>1 「チーム松高」としての組織的指導力に基づき、生徒の学力向上に努め、進学実績を一層向上させる。 また、新型コロナウイルスによる教育活動への影響を最小限に抑えるため、様々な取組を実施する。</p> <p>2 自己の在り方生き方を常に考えさせ、心身ともにたくましく、高い目標にチャレンジし続ける生徒を育てる。</p> <p>3 本校の良さを積極的に発信し、保護者・地域・同窓会との「絆」を深め、一層信頼される学校づくりを進める。</p>
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 ( 1 月 2 2 日 現 在 )				
番号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策
1	<p><b>【現状】</b> ICTを活用した授業や松高塾等を通じた丁寧な指導を実践している。昨年度は、国公立大学合格者数、難関私大の合格者数ともに横ばいであった。また、第一志望校(高い目標)への挑戦をあきらめてしまう生徒が見られる。</p> <p><b>【課題】</b> 生徒の第一志望校合格に向け、学力をさらに向上させるとともに、目標に挑戦し続ける態度を育成する。また、SSHにおける探究の取組を学校全体に普及させ、主体的に学ぶ力を育成する。</p>	<p>休業中の学力を補習し、さらなる学力の向上に努めるとともに、目標に挑戦し続ける態度を育成し、進学実績を向上させる。</p> <p>SSH事業により主体的に学ぶ力を育成する。</p>	<p>①GoogleClassroomを活用し教材の配信を行い、家庭学習が円滑に主体的に学ぶ力を育成する。また、YouTubeによる授業配信も検討する。</p> <p>②全体説明が困難なため各教室へのLive配信を整備し、ガイダンスやオリエンテーションの丁寧な進学指導を実践する。</p> <p>③第一志望校合格に向け、松高塾等による更なる学力定着、小論文や面接指導等による多様な受験対策指導を行う。</p> <p>④新学習指導要領に向け、本校の将来を見据えた新教育課程を編成する。</p> <p>⑤保護者とともに進路を考えるきっかけとして、保護者対象進路説明会や進路研修会、さらにITによる情報提供を充実させる。</p>	<p>①休業中の授業の1/3に相当する教材が配信できたか。</p> <p>②説明会等が十分な内容で実施できたか。</p> <p>③取組状況及び国公立大学及び難関私大の合格者数10%増</p> <p>④将来を見据えた新教育課程の編成結果</p> <p>⑤保護者対象のアンケート結果による満足度80%</p>	<p><b>【目標に向けて生徒は努力している。さらなる学力向上に努める。】</b></p> <p>①GoogleClassroom、YouTube等により600本以上の教材を配信した。さらに、個別支援が必要な生徒に対する学習支援として、映像配信によるシステムを活用した。</p> <p>②各教室へのLive配信を使用して、全校集会、総合的な探究の時間の学年指導、保護者会、進路指導、SSH特別講義等を実施した。</p> <p>③松高塾のべ80講座開講、3年生への面接・小論文指導等を組織的に行った。国公立大学へは8名が合格し、順調に伸びている。(1月21日現在)</p> <p>④本校の将来構想に基づいた普通科、普通科特進クラス、理数科の新教育課程を編成した。</p> <p>⑤6月、2月に保護者対象の進路説明会をYouTubeにより実施した。進路指導に対する保護者の満足度は73.3%である。</p>	A	<p><b>【課題】</b> 「本校に望むこと」に生徒、保護者ともに「学習指導」と「進路指導」を挙げている。この対応が課題</p> <p><b>【対応策】</b> ・さらなる授業改善(ICTの活用や考えさせる授業に対する研修)等の推進 ・個に応じた学習、進路指導のさらなる工夫</p>
2	<p><b>【現状】</b> 多くの生徒が基本的な生活習慣が確立されており、校内での挨拶もよく行われている。部活動にも真剣に取り組む、全国レベルで活躍する生徒も多くいる。一部に心に悩みを抱える生徒が見られる。</p> <p><b>【課題】</b> 新型コロナウイルスの影響により、部活動の活動形式、内容等への工夫が必要となる。</p>	<p>各活動を通じて、心身ともにたくましい生徒を育成する。</p>	<p>①全教職員による全体指導と個別指導、計画的な登校指導や交通安全指導により、規範意識や交通マナーをさらに確立させる。</p> <p>②日頃の丁寧な生徒観察や生徒アンケート等により、安心安全な学校生活を保障する。</p> <p>③生徒相談体制を充実させ、SC、SSW、特別支援コーディネーター等の外部機関との連携を強化する。</p> <p>④生徒会行事等の在り方、実施方法などに工夫をし、臨機応変に対応することで実施し、生徒の主体的行動力を育成する。</p> <p>⑤部活動の活動環境・内容・実施方法など、あり方そのものへの検証を加え、緻密な指導体制を確立し、部活動を活性化させる。</p>	<p>①丁寧な個別指導、3回以上の整容指導、8回以上の登校指導</p> <p>②いじめ及び問題行動の100%解消</p> <p>③SC、SSW、特別支援コーディネーターと効果的な連携</p> <p>④生徒主体の学校行事やボランティア活動への取組と参加状況</p> <p>⑤生徒の部活動加入率</p>	<p><b>【諸活動を通じて心身共にたくましい生徒を育成できた。】</b></p> <p>①年3回の整容指導、年6回の登校指導を全教職員で行った。(1月21日現在)生徒の基本的な生活習慣はほぼ確立できている。</p> <p>②日々の生徒観察やアンケート等により安心安全な学校づくりを行った。</p> <p>③生徒相談委員会を年10回(1月21日現在)開催し、情報共有と諸対応を行った。スクールカウンセラーによる年間14回のカウンセリング日进行くとともに、必要あるときにさらにスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、特別支援コーディネーターを依頼、連携した。</p> <p>④新型コロナウイルス流行の影響で、多くの生徒会行事が実施できなかったが、オンライン文化祭、動画による生徒会役員選挙立会演説会等を行った。</p> <p>⑤新型コロナウイルス感染症の流行に伴う制限の中で、各部活動とも精いっぱい活動した。全校の部活動加入率は93%。</p>	A	<p><b>【課題】</b>部活動に対する生徒・保護者・地域のニーズへの対応、生徒相談等のニーズが増えていることへの対応が課題</p> <p><b>【対応策】</b> ・部活動の指導体制、各部活動の活動内容のさらなる工夫 ・生徒相談や特別支援に対する体制づくりとSCやSSW等とのさらなる連携</p>
3	<p><b>【現状】</b> HPによる情報発信や地域連携等により開かれた学校づくりに努め、高評価を得ている。</p> <p><b>【課題】</b> 従来の説明会の形態では、実施できないため、新たな方法を模索し、中学生が減少する中、選ばれる学校づくりを進める。さらに本校の良さを実感できるための広報に取り組む。</p>	<p>新たな情報発信方法を検討し、外部との連携強化により、入試志願倍率を向上させる。</p>	<p>①HPの更新をよりタイムリーに行うなど本校の「良いところ」を、効果的かつ積極的に情報発信する。</p> <p>②学校説明会等の在り方を三密を避ける方式へと変更して実施するなど、多角的な視点から広報活動を行う。</p> <p>③体験授業、部活動、地域行事等が実施できるかを見極めながら、地域や地元小中学校との連携を強化することにより、本校の良さを広報する。</p> <p>④塾主催の説明会への積極的な参加、塾訪問や塾対象学校説明会により生徒募集を強化する。</p> <p>⑤生徒・保護者対象のアンケートの集計と分析により、選ばれる学校づくりの検討を行う。</p>	<p>①HPの更新回数とアクセス数前年度比10%増</p> <p>②三密を避ける方式で学校説明会を実施できた回数と参加者の満足度</p> <p>③地域との連携数とその内容</p> <p>④オンラインを含む各説明会への参加状況</p> <p>⑤生徒・保護者の満足度と入試倍率</p>	<p><b>【全教職員により積極的な情報発信を行ったが、入試倍率等の数値に現れていない。】</b></p> <p>①ほぼ毎日更新した。アクセス数は一日平均2971件。</p> <p>②三密を避ける方式として、オンライン型の学校説明会を9回、来校型の人件制限をした学校説明会を4回実施した。</p> <p>③人と人の交流が制限された中で、SSH発表会の松高賞は実施するも、SSH理科教室、部活動による小中学校との交流、地域行事やボランティア活動は実施できなかった。</p> <p>④例年に比べ塾の説明会の回数が減少したが、すべてに参加した。塾対象学校説明会を3回(10月)、中学校訪問(12月)を実施した。</p> <p>⑤生徒の82%、保護者の92%が本校へ入学してよかったに肯定的な回答をしている。生徒・保護者のニーズに合わせた学校づくりを進める。</p>	B	<p><b>【課題】</b> 本校の魅力を積極的に情報発信しているが、入試倍率等の成果に現れていないことが課題</p> <p><b>【対応策】</b> ・生徒・保護者の本校への期待の分析並びに対応策の検討とその実施</p>

学校関係者評価
実施日 令和3年2月22日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>○コロナ禍という困難な状況の中、インターネットを活用した双方向による教育環境を学校全体の取り組みによって実現し、生徒が努力できる学習環境を整えるなど、学力の向上と進路実績の向上によく努力している。○教材を600本以上配信したことは、学習保障・学習支援を通して生徒の学力向上につながる。○SSHはできる限りの取組をして成果を上げている。○ICTの活用について引き続き工夫してほしい。○英語力向上のために一層の努力をしてほしい。○進学について、総合型選抜や学校推薦型選抜で合格した生徒が一般選抜で求められる実力を有しているか疑問をいただく。推薦や現役での合格にあまりこだわらずに第一志望を貫いてほしい。○本校へ入学してよかったとする回答に比べ、保護者の進路指導に対する満足度は少し低い。</p> <p>○コロナにより諸活動に影響を受け、行事や部活動の中止があり、豊かな教育活動を行うことが困難な状況下で、制約を乗り越えて指導や取組が十分に行われた。○オンラインでの文化祭や動画による立会演説会は工夫した取組である。○生徒会や部活動、体育祭、駅伝大会等学校行事は、より活性化することによって、生徒の成長する機会が増える。○挨拶をきちんと行う本当に気持ちの良い生徒を育てている。○コロナの中で、心の悩みを抱える生徒への対応について評価でき、引き続き心身や家庭等に課題のある生徒へ丁寧に対応してほしい。</p> <p>○コロナにより来校が制限され、直接見る・聞くことができず学校の良さを実感させることに苦慮したが、生徒募集部による組織的な活動など、情報提供の工夫と努力が見られる。○HPで毎日更新を行いアクセス数が多かったことは、松高への関心が高いことの表れである。○男子校だからこそできること・学べること、伝統校の強み、卒業生の体験談など広くPRし、生徒も情報発信に協力させたり市内の公的施設に広報誌をおくといった工夫がほしい。○すべての活動の結果が入試志願者数に表れる。</p>